

2021年 2月 28日

## 主 日 礼 拝

①8時半 ②10時半 ③13時半 ④19時

司 会 ②石井 秀人兄

奏 楽

祈 禱 ②白川 達男兄

賛 美 聖歌498番 ～アイ・ワーシップ・ユー～

パウロの<sup>いの</sup>祈り② エペソ人への手紙3章16～19節

聖書朗読 ヨハネの<sup>だい</sup>第二の<sup>て がみ</sup>手紙<sup>せつ</sup>1～6節

特別賛美 ①②ドルカス会／③④プレミアム・クワイア

メッセージ 「主に選ばれている喜び！」

石井 潤 牧師

献 金 聖歌541番 ～栄光イエスにあれ～

祝 禱

お知らせ

〔司会者〕

賛 美 ～生ける限り～

☆礼拝にお越しくださった皆様を心よりご歓迎いたします！☆

### 《今週のお知らせ》

★礼拝の恵みを心より感謝します！今週も主の守りが豊かにありますように！

☆今週の祈り会は ○早天祈禱会：明 朝 6時、◎祈禱会：木曜午前10時半、

夜7時半（大和教会の祈禱会に参加）。○準備祈禱会：土曜夜8時。

★来週の日曜礼拝では誕生祝福式です！①8:30②10:30③13:30④19:00

☆一年に一回聖書を完読できる！ Bible Reading Plan〔2/28－3/7〕

Date	日	月	火	水	木	金	土	日
旧約	民 11-13	14-15	16-17	18-19	20-21	22 章	23-25	26-27
新約	マコ 7:24-37	8:1-21	:22-38	9:1-29	:30-50	10:1-31	:32-52	11:1-18
チェック	〇〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇	〇〇	〇〇〇〇	〇〇〇

## 「主に選ばれている喜び！」

～キリストの真理と愛の内にとどまる～

「イエス・キリストが、人間<sup>にんげん</sup>となってこの世<sup>よ</sup>にきたことを否定<sup>ひてい</sup>する詐欺教師<sup>さぎきょうし</sup>が世<sup>よ</sup>のあちこちで現<sup>あらわ</sup>れている。彼らは、真理<sup>かれ</sup>にそむく救世主<sup>しんり</sup>の敵<sup>てき</sup>だ。8彼らの口車<sup>くちぐるま</sup>に乗せられ、今まで築きあげた人<sup>ひと</sup>の永遠<sup>えうえん</sup>の命<sup>みこと</sup>が氷<sup>こほり</sup>の泡<sup>う</sup>とならないように神経<sup>しんけい</sup>をはるんだ。少しもとりこぼさないでほしい。9神<sup>かみ</sup>は救世主<sup>きりすと</sup>に反<sup>はん</sup>して生きる者<sup>もの</sup>には目<sup>め</sup>もくれず、救世主<sup>きりすと</sup>の教え<sup>おし</sup>を律儀<sup>りちぎ</sup>に守<sup>まも</sup>る人<sup>ひと</sup>には、父<sup>かみ</sup>さんとその一人子<sup>ひとりご</sup>が側<sup>そば</sup>にいてくれる。」〔アライブ訳〕

このヨハネの第二の手紙と第三の手紙はとても短い手紙です。しかし、この第二の手紙には宛名がはっきりと書かれています。「選ばれた婦人とその子たちへ」。その頃の教会もご婦人が多くおられたのかもしれませんが。この「婦人」という言葉は、「女主人」とも訳せることばで、女性でもとても力があつた方々だったのかもしれませんが。しかも、「選ばれた」という形容詞がついています。この言葉は、ヨハネ15:16「あなたがたがわたしを選んだのではなく、わたしがあなたがたを選びました。」という主が弟子たちに語つた特別な選びの時に使われた「選ぶ」という動詞の形容詞版です。特別に選ばれたとも訳せることば、「特選」ラベルがつけられるような内容のことばです。私たち一人一人は主によって特別に選ばれた存在です。その選びは、十字架の血によって、そのお命によって選び出された内容なのです。そんな特別に選ばれた者たちが主が命がけで開いてくださった救いの道を一步でも踏み外すようなことが断じてあってはならない！というヨハネの強い思いが後半に語られています。

グノーシス主義という間違つた教えがその時代に大きく広がっていました。新改訳聖書で9節は、「だれでも、『先を行って』キリストの教えにとどまらない者は、神を持っていません。」と表現されています。『先を行って』というのは、救いの道は主によってしっかりと整えられているにも関わらず、その教え、使徒たちの教えはもう古いとして、もっと進歩的な、今の社会に合わせたような教えを求めて、ギリシャ哲学的な考え方に染まってしまったクリスチャンたちが出てきたということです。現在はどうでしょうか？聖書が語る、主の福音に満足せず、自分勝手な好みに任せて、様々な教えに耳を傾けていないでしょうか？そんなことは断じてあってはならない！とヨハネは強く主張します。そこには父なる神様もイエス様も共におられないのだ！と。私も大いに反省させられました。聖書のみことばだけでなく、様々なものに関心を寄せ、思いを寄せていたことを悔い改めました。クリスチャンは井の中の蛙だと思い込んでしまう部分がありますが、その世界の深さ、高さを。また知らない大いなる主の偉大さを体験していく必要を感じています。もっと飢え渴いて、時間をかけて主を求めて行きたいと願います。そして、そこから流れてくる「真理」と「愛」にとどまり、その恵みを豊かに体験したいと願います！